

イ 参加行事

部門	区分	行 事 数	参加者(点)数	観 覧 者 数
音 楽		9	788	5,407
美 術		25	3,507	30,750
文 学		2	96	299
舞 踊		7	904	7,550
そ の 他		6	1,199	6,413
計		49	6,494	50,419

3 芸術鑑賞の機会の確保

(1) 移動芸術祭・同巡回公演

中央の優れた舞台芸術を鑑賞する機会の少ない県民のために、文化庁が派遣する公演を実施し、芸術文化の振興を図った。

演 目	公 演 団 体	期 日	会 場
歌 舞 伎	松竹大歌舞伎	11月6日	県文化センター
新 劇	劇 団 俳 優 座	11月13日	二本松市民会館

(2) 青少年芸術劇場

青少年(14～19歳)に対し、その年齢に応じた、文化庁が派遣する舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、その豊かな情操の涵養を図り、健全な成長に役立てることを目的として開催した。

演 目	公 演 団 体	期 日	会 場
オペラ	日本オペラ振興会	8月10日	二本松市民会館
能 楽	能 楽 協 会	8月10日	須賀川市文化センター

(3) 中学校芸術鑑賞教室

中学生の情操の涵養と芸術活動への参加の機運を醸成するため、文化庁の派遣する舞台芸術を公演して芸術鑑賞及び表現活動の機会を確保し、中学生の健全育成を図ることを目的として開催した。

会場及び参加者 会津若松市立第一中学校 生徒 830名
 公演種目 オーケストラ
 公演団体 東京交響楽団 指揮 秋山和慶
 期 日 9月12日

(4) 家庭劇場

本格的な文化施設を有しない地域の県民のために、優れた舞台芸術を巡回公演して、家族ぐるみで芸術を鑑賞することを奨励し、豊かな家庭づくりを進めるとともに、地域文化の振興に役立てる目的で県内14ヶ所で開催した。

ア 主 催

福島県教育委員会、財福島県文化センター、開催地教育委員会、財日本青少年文化センター、財日本児童演劇協会

イ 公演内容

音楽公演

タイトル ミュージカル・アカデミー「ピエロの大行進」

公演団体 ミュージカル・アカデミー

入場者数 2,333名(4公演)

児童劇公演

タイトル 「裸の王様」

公演団体 楽劇団いちょう座

入場者数 5,342名(10公演)

(5) 福島県芸術鑑賞教室

成長期にある子供たちに優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性・情操の涵養に役立てるとともに、将来本県文化の振興を担う人材の育成を図ることを目的として実施した。

種 目 オーケストラ

公演団体 オーケストラ教室管弦楽団

期 日 10月22日

会 場	参 加 校	参加者数
白河市民会館	白河市内小学校6年生、中学校1、3年生	1,281名
棚倉中学校体育館	棚倉小学校6年生、棚倉中学校	1,318名

(6) 第14回県展移動展

地方に優れた芸術文化を紹介することによって地方特有の文化を高めるとともに、自ずから文化を創造する力を育てる目的で、昭和44年度から実施してきた「地方巡回美術展」を昭和52年から内容の充実と部門の拡大を図り、「県展移動展」と名称を改めた。

本年度は14回目で、展示した100点の作品は、第44回県展の招待及び授賞等の作品であり、多彩で質の高い内容により各会場とも好評を博した。

ア 期日、会場、観覧者

7月5日～8日	須賀川市文化センター	1,212名
7月12日～15日	下郷町民会館	1,328名
7月19日～22日	塩川町民体育館	950名
7月26日～29日	鮫川村農業者トレーニングセンター	500名

イ 展 示 数

日本画20点、洋画35点、彫塑15点、工芸美術15点、書15点、計100点

4 文化振興基金の充実と活用

県民の文化活動の活発化に伴い、文化振興基金の利用も多く、県民の文化活動促進のための原動力となった。

また、文化活動に関し優れた成果を収め、本県文化の普及・向上・保存及び伝承に貢献した個人または団体を顕彰した。